

広島市植物公園 見どころ案内

2023年9月20日
通巻第596号

今週の
見どころ案内
掲載植物
現場にはこの表示
がしてあります。

展示会のご案内

- ◇展示資料館 (9/23~10/19)
ボタニカルアート作品展
- ◇展示温室 (9/2~10/1)
薬用植物展
- ◇大テント前、
スイレン温室など (7/8~9/24)
盛夏のスイレン展

ヒガンバナ (ヒガンバナ科)

中国原産。秋の彼岸 (秋分の日前後) に咲くのが和名の由来ですが、今年は暑い日が続き開花が遅れています。9月末~10月頭が見ごろになりそうです。

スタペリア 王犀角 (ガガイモ科)

柱サボテンのような茎と臭いのあるヒトデのような花を持つ、一度見たら忘れられない多肉植物。

ハトラン (ラン科)

中南米原産。パナマの国花。花の形が飛翔する鳩に見える。学名のペリスティアも「小さなハト」の意味。

オオオニバスのなかま (夜咲き)

リュウキュウガシワ (キョウチクトウ科)

南西諸島に自生するつる植物。ガガイモ (イケマ) のなかまで、現地ではマダラチヨウ類の幼虫の食草。

★大温室で見頃の花
(赤花) サガリバナ、ラッセリア、(シマ) サンゴアナナス、グズマニア、アンズリウム、洋ラン各種、ムッサエンダ、ヘリコニア、[カカオ、コショウ、ホウイトサボテ、バナナ、ココヤシ、パキラ、レンブ、テリハバンシロウ、ソーセイシノキ、コーヒー (以上は実)]、マツリカ、バキスタキス・ルテア、プセウドランテマム、ニオイサンタンカ、チャポイランイランノキ、ゴールドチェーンツリー

オミナエシ
キバナコスモス
シオン
メランポジウム

オトコエシ
ゲンノショウコ
シモバシラ

サワアザミ

カリガネソウ (シソ科)
東アジア原産。花の形が雁 (かり) に似ているとして名付けられました。

ポポー (実)

ハナセンナ (マメ科)
黄色の可憐な花を咲かせます。ブラジル・アルゼンチンが原産で、別名はアンデスの乙女。

ハギのなかま (マメ科)
ハギは秋の七草の一つ。園芸品種を含めて14種類のハギのなかまを植栽展示しています。

サルスベリ (ミソハギ科)
中国南部原産。別名は百日紅、7月~10月と花期が長い。手入れしやすく庭園樹におすすめ。

セイヨウフジバカマ (キク科)
北米原産。別名は青色フジバカマ、ミストフラワー。洋風の庭に似合う丈夫な多年草。

牧野富太郎博士のパネル展示
特別企画展は終了しましたが、9月末まで一部パネルをロビーに展示中。

❀ 毎週土・日曜日・祝日 午後1時半~3時20分は、ガイドボランティアが園内を案内します ❀
❀ 9/26、10/7 午前11時~は、職員による植物うんちく語りを実施します ❀